

【月刊HMレポート：Vol. 274】 2024年7月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



ムダの回避と組織の活動力強化のための

社内のベクトル（活動方向性）の合わせ方

◆◆◆ 重要なのは《方針明示》だけではなかった… ◆◆◆

◆本レポートの内容◆

- | | |
|---------------------------|---------|
| 【1】 社内の“活動ベクトル”が揃わないという悩み | …… 17 頁 |
| 【2】 失敗や認識不足でさえ生み出し得る創造的結果 | …… 18 頁 |
| 【3】 組織活動が一定方向に動き始めない要因の所在 | …… 19 頁 |
| 【4】 手段特定に問題共有が加わって方向性が定まる | …… 20 頁 |
| 【5】 組織内での活動ベクトルを合わせるための基本 | …… 21 頁 |

『難しい課題があっても、メンバーの力を結集して挑戦するならうまく行く』とは言えるかも知れません。そして『うまく行かないのは、組織活動のベクトル（方向性）を揃えないからだ』という批判も成り立ち得ます。

ただ、そもそも“力の結集”程に難しいことはないかも知れません。見識も経験も感覚も情報量も違う人達が、同じ方向を目指す方が奇跡だとも言えそうだからです。しかし『それでも社内ベクトルを揃える方法がある』と指摘する経営者がおられるのです。その内容を事例でご紹介します。



SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- ◎ SPC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
- ◎ jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。